

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【法律・経済分野】	おすすめポイント	
	SDGs実現に向けた 施策立案手法を学ぶ ～ナッジ理論・経済的手法の活用～	SDGsに係る施策の実効性向上のためには、住民や企業等の対象者をモチベートするアプローチが役立ちます。本研修では、対象者に行動変容を促すナッジ理論や経済的手法を活用した施策立案について学びます。	
講師	(株) パパラカ研究所 代表取締役社長 <small>やまね</small> 山根 <small>しょうこ</small> 承子	実施日数・時間	計3時間程度
		手法	動画研修
		会場	各所属ほか
		市町村研修コード	206
ねらい	SDGs実現に向けて、ナッジ理論や市場メカニズム等の経済的手法など対象者に望ましい行動を促す施策立案手法について、実例を通して学びます。		
対象者	【県】 次のいずれかに該当する職員 ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 【市町村】 主任級以下の職員		
実施日	研修生に別途通知		
予定人員	県150人・市町村50人		
学 習 計 画			
カリキュラム	動画時間数		内 容
	時	分	
自治体におけるSDGs 施策立案に向けた多様なアプローチ SDGs実現に向けた実例紹介 実施における注意点と失敗例	3	00	・SDGsと施策 ・人間の合理性の捉え方の違い（パターンリズム、リバタリアニズム、リバタリアンパターンリズム） ・リバタリアンパターンリズムに基づくアプローチ：ナッジ理論 ・経済学的なアプローチ：制度設計（市場メカニズム等） ・インセンティブを与える、ペナルティを与えるとはどういうことか ・どのアプローチが適しているか？ロジックモデルから整理してみよう ・理解度チェック ・効果的な事例：自主取組み、ナッジ、制度設計等 ・それぞれのメリット、デメリット、活用場面 ・ナッジと国民性、ナッジは受け入れられているのか ・ナッジのよくある誤解 ・ナッジ、インセンティブ設計の失敗例 ・悪いナッジ「スラッジ」 ・倫理面の配慮：効果検証を行う際の注意点
特記事項	・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。		